

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>基本理念として、「笑顔で 元気に 自分らしく」を掲げ、それを踏まえた基本方針として、「私たちは、利用者・家族とともに夢に向かって歩みます。」「私たちは、チームで支え、福祉のプロとして挑戦します。」「私たちは、誰もが安心して暮らせるよう、地域のかげはしになります。」の3つを明文化している。理念・基本方針に基づき、施設の具体的な運営目的・運営方針を明示している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念・基本方針やロゴマークについては、ホームページ、パンフレットや事業計画等に明記し、運営目的・運営方針は運営規程や重要事項説明書等に記載している。理念・基本方針は、職員間でアンケート・ヒアリングをもとに決めており、朝礼等の機会を捉えて職員周知を促している。</p> <p>ロゴマークは、プロジェクトチームを組織し、職員や利用者等に広く募集して決定しており、施設の玄関、通路、各室に掲示されている他、職員の名札の裏面、封筒、缶バッチ等に記載し、広く周知を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>重要事項説明書には理念・基本方針が記載されていない。また、パンフレットには基本方針が未記載である。今後、記載する等、さらなる利用者周知に向けた取り組みに期待したい。</p>		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	A・ B ・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 平成26年度～平成30年度に渡る5カ年計画を策定し、中・長期的なビジョンを明確にしている。運営全般に渡る具体的な取組内容を明示している。 事業計画は、中・長期計画を踏まえ、児童・障害福祉制度動向や変化するニーズを把握し、予算の裏付けのもと、前年度の事業結果を反映させて策定している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 今後とも施設の将来を見据え、収支計画を伴う中・長期計画策定に向けた取り組みに期待したい。</p>		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	A・ B ・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	A ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A・ B ・C
<p>良い点/工夫されている点： 計画の策定にあたっては、各種会議を通して職員参画のもとに評価・見直しが行われ、次年度計画に反映されている。 利用者周知については、年度当初の説明会、その他機会を捉えて保護者への周知を図っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 計画策定にあたり、職員の参画や周知に向けた取り組みの不十分さを認識している。今後、事業計画の作成について職員の参画や利用者周知の機会拡充に向けた取り組みに期待したい。</p>		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A・ B ・C
<p>良い点/工夫されている点： 管理者としての役割と責任については、事務分掌表を作成し、職員会議等で役割や責任について説明している。</p>		

関係法令等の研修会の参加等を通じて積極的に遵守法令の情報を収集し、会議等で周知を図っている。	
改善できる点/改善方法： 今後とも、改変が続く児童・障害福祉関係法令についてリスト化した資料を作成する等してさらなる職員周知に努めるとともに、コンプライアンス意識の浸透に向けた取り組みに期待したい。	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 管理者は、現場に身を置き、支援方法の向上について話し合い、サービスの質の向上に向けた取り組みに指導力を発揮している。また業務の効率化と経費節約に努めている。	
改善できる点/改善方法：	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。		Ⓐ・B・C
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。		Ⓐ・B・C
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。		A・Ⓑ・C
良い点/工夫されている点： 福祉動向については、各種研修会への参加、各種専門誌やインターネット等から情報収集を行い、職員に周知を図っている。地域ニーズについては、関係機関、地域団体との連携しながら情報収集を行い、ことばの相談会や一般相談等の支援活動を通して、地域の潜在的なニーズの把握に努めている。 経営状況については、利用児の推移、利用率の分析を行うとともに会計事務所の指導を受け、月次の財務諸表を分析し、課題改善に向けた取り組みを行っている。		

<p>改善できる点/改善方法： 会計事務所の指導を受け、課題改善に向けた取り組みを行っている。今後とも、さらなる経営体質の強化に向けた取り組みに期待したい。</p>

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点： 施設として求められる専門性のある者や有資格者を配置し、人員体制を整えている。 人事考課は法人独自の人事考課制度に基づき、目標管理制度を導入した人事考課が実施されている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点： 職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを定期的にチェックし、結果を分析・検討する等して働きやすい就業環境の整備に努めている。目標管理制度における定期的な面談を通して職員が相談できる体制ができている。また看護師を配置し、相談に対応できる体制を整えている。 福利厚生については、岐阜県民間社会福祉事業者共済会に加入し、健康診断、予防接種、互助会等、福利厚生の充実に取り組んでいる。事業計画に、職員が安心して働けるよう福利厚生や環境整備に努めると明記されてある。今後ともさらなる職場環境の向上に向けた取り組みに期待する。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		

II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・B・C
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	A・Ⓑ・C
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点/工夫されている点： 事業計画に「人材育成の強化」「研修体系に沿った職員研修の実施」が明記され、各職位、レベル、職種別等で各種研修の年間計画が策定されている。 研修後は復命報告の提出や伝達研修等を通して職員全体に周知し、評価・見直しをして次の研修へ反映させている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 今後、職員の個別年間研修計画の策定や実施後の計画の見直しの仕組みづくりに向けた取り組みに期待したい。</p>		
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
II-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 実習生について積極的に受け入れていく姿勢を示し、年間60名を超える多くの実習生を受け入れている。実習担当者を配置し、事前オリエンテーションを行っている。その中で、施設概要や実習心得等の説明を行い、養成校と連携しながら実習を進めている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

II-3 安全管理

II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	A・Ⓑ・C

<p>Ⅱ－３－（１）－③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 各種の対応マニュアルを整備するとともに、職員連絡網を作成し、一斉メール配信の仕組みを整備している。 定期的に避難訓練を実施する等して地震を含めた災害時に備えている。アリーナを福祉避難場所として、受け入れ体制ができています。 ヒヤリハットを収集し、職員間で話し合い、分析と対応策の検討を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 今後とも、ハザードマップから見た避難の在り方の検討等、地震や風水害対策等の様々な危機管理対策の充実に向けた取り組みに期待したい。</p>	

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

<p>Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： ふれあい夢祭りの開催、保育所との交流、一般相談やことばの相談室等を実施し、交流や助言指導を行っている。 地域住民向けの福祉セミナーの開催、施設会議室の貸し出しや福祉避難所としての役割等、事業所機能を地域に還元している。 ボランティア受け入れマニュアルを整備し、ボランティア委員会を設置し、事前説明資料を準備し、オリエンテーションを行い、受け入れをしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。</p>	
<p>Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。</p>	<p>A・Ⓑ・C</p>
<p>Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 関係する機関の情報収集をし、職員に周知を図っている。 ケース会議を開き、困難事例の話し合いを通じて関係機関との連携を密にしている。</p>	

<p>改善できる点／改善方法： 今後、社会資源を一覧にし、体系的に整理する等、さらなる職員への周知に向けた取り組みに期待したい。</p>

<p>Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。</p>	<p>Ａ・Ⓑ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 地域の福祉ニーズの把握は、一般相談の実施やことばの相談会、各関係等と連携して情報収集し、ニーズの把握に努めている。 地域のニーズに応じて地域の相談支援事業を実施している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 社会福祉法人改革の流れの中で、今後、社会福祉法人の使命として、公益的な事業活動がますます重要になってくる。公益活動はこれからの分野であるので、地域の子どもの療育・支援の拠点施設として地域のニーズを捉え、施設の専門性を提供できる方策を検討する等、今後この分野での活動の拡充に向けた取り組みに期待したい。</p>	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

<p>Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。</p>	<p>Ａ・Ⓑ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 利用児及び保護者を尊重した親子療育・支援の基本姿勢について運営規程に明示されている。また、人権に配慮した言葉かけ、日常的な場面での支援等について、職員間で振り返り、支援の質の向上を図っている。 具体的な支援場面においてプライバシー保護に配慮した支援に努めている。</p>	

改善できる点/改善方法： 個人情報保護規程は整備されているが、具体的な支援場面におけるプライバシー保護に関するマニュアルは整備されていないので、今後、整備に向けた取り組みに期待したい。	
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。	
Ⅲ－１－（２）－①	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。 Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 行事ごとのアンケート、個別懇談での意見聴取等を通じて意向を把握し、各種会議で検討し、利用者満足を目指し、サービスの質の上昇に向けた取り組みを行っている。	
改善できる点/改善方法：	
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ－１－（３）－①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。 Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 Ａ・Ⓑ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 相談室を設置し、いつでも相談に応じられるよう体制を整備している。 苦情についても苦情受付担当者、責任者、第三者委員を明らかにし、苦情解決の流れについて掲示して周知している。 保護者には苦情解決の流れについて記載した重要事項説明書を配布し、説明している。職員誰もが相談に応じられるよう日頃から声かけに心がけ、保護者との信頼関係の強化に努めている。	
改善できる点/改善方法： 今後、対応マニュアルの整備に向けた取り組みに期待したい。	

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の上昇に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。 Ａ・Ⓑ・Ｃ	
Ⅲ－２－（１）－②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確	Ａ・Ⓑ・Ｃ

にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員個々に振り返りを行っているが、福祉サービス第三者評価は今年度が初めての受審である。第三者評価の結果に基づき、取り組むべき課題を明確にし、組織として共有し、サービスの質の向上に向けて取り組む体制はできている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>今後、第三者評価の結果に基づき、取り組むべき課題を明確にし、サービスの質の向上に向けた取り組みに期待したい。</p>	

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A・ Ⓐ ・C
Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A・ Ⓐ ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>標準的なサービスの実施方法については、現場でOJTを通して指導している。また、個々のサービスに応じた各種マニュアルを作成し、職員周知に努める等サービスの質の均一化を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>各場面の支援における標準的なサービスの実施方法のマニュアル化については、まだ十分ではないので、今後、各種マニュアルの整備に向けた取り組みに期待したい。</p>	
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ ・B・C
Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ ・B・C
Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子ども一人ひとりのアセスメント、ニーズに応じた個別の児童発達支援計画、実施記録作成までの一連の仕組みができている。</p> <p>記録の保管、保存、廃棄に関する規程を定め、責任者を設置して厳重に管理している。</p> <p>利用児の情報については、朝礼をはじめ、職員会議等、様々な機会を捉え、共有に努めている。</p>	

改善できる点/改善方法：

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>ホームページやパンフレットによる情報発信、見学や事前相談により情報提供に努めている。 サービス利用にあたっては、重要事項説明書、利用契約書について丁寧に説明し、保護者の同意を得て契約している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>事業所の変更、地域・家庭への移行にあたっては、引継ぎを行い、終了後も相談が可能なことを説明し、サービスの継続性に配慮したアフターケアの実施に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
今後、引継ぎについての文書化に向けた取り組みに期待したい。		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>子どもの心身状況、生活状況やコミュニケーションや社会性等を把握するため、施設で統一したアセスメント様式を使用し、定められた手順に従ってアセスメントを行っている。</p>		

改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>児童発達支援計画の策定については、アセスメントに基づいて、子ども一人ひとりのニーズや支援目標を明確にし、保護者の意向を踏まえて、児童発達支援管理責任者、各担当を中心に各職種間で話し合い、個別支援計画を作成している。</p> <p>計画の実施状況をモニタリングし、定期的な再アセスメントを実施して職員会議で評価分析を行い、見直しを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価細目の第三者評価結果（障害分野）

A-1 利用者の尊重

1 - (1) 利用者の尊重		第三者評価結果
A-1-(1)-①	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされていますか。	Ⓐ・B・C
A-1-(1)-②	利用者の主体的な活動を尊重していますか。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員は、子どもたち一人ひとりの障害特性や発達段階を踏まえて、コミュニケーション能力を高めるため臨床心理士や言語聴覚士等の支援内容も取り入れた個別支援計画に基づき、支援を行っている。コミュニケーション手段としてはジェスチャーや「マカトンサイン」、写真、カード等や言語聴覚士による手づくりの教材を使用している。子どもの言語指導が必要であれば、保育園、幼稚園に出向き、その子に応じたコミュニケーション手段を伝えている。また個別に行われているコミュニケーション技術を言語聴覚士と担当保育士により集団活動に応用できるよう汎用化に向けた取り組みを行っている。</p> <p>主体的に遊べるよう一人ひとりの興味に合わせた玩具を選択できるように準備している。また保護者向け勉強会「キラット」を保護者の代表と話し合いながら毎月行っている。さらに月に2回、保護者主体の学習会「マザーズデイ」があり、保護者の主体的な活動を尊重している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>保護者のための会はあるが、保護者同士の情報交換や交流の機会が少ないようである。今後、更なる交流促進に向けた取り組みに期待したい。</p>		
A-1-(1)-③	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されていますか。	Ⓐ・B・C
A-1-(1)-④	利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがありますか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子ども一人ひとりに対して、日々の生活の中で日常生活動作の自立に向けて、どのような方法で支援していけば良いのかを検討し、支援計画を立て、保護者と話し合いながら進めている。心理職や他の専門職の意見も計画に取り入れ、総合的な観点から子どもの療育・支援に努めている。</p> <p>日常生活の身近自立だけでなく、コミュニケーションスキルや遊びの充実等、子ども一人ひとりに応じてのプログラムを作成し、個別的な関わりをしている。歌が好きの子、楽器が好きの子、絵が好きの子等、様々であるが、個性を伸ばす関わりをしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

A-2 日常生活支援

2- (1) 食事		第三者評価結果
A-2-(1)-①	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されていますか。	A・ Ⓐ ・C
A-1-(1)-②	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されていますか。	Ⓐ ・B・C
A-1-(1)-③	喫食環境（食事時間を含む）に配慮していますか。	Ⓐ ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの体調や身体状況により、食事量を調節したり、食形態についてもその子に合わせてペースト食から普通食まで提供している。嚙めない子には、ハサミで切って調節したり、調理室でミキサーをかけたり、とろみをつけたりする等工夫している。食物アレルギーの子には除去食を取り入れている。</p> <p>献食簿があり、味、量、残食等について職員が記入し、職員間で共有している。毎月、給食委員会を開き、食材や献立について検討を行っている。手づくりおやつも多く、安心して美味しい食事が提供されている。一日の子どもの様子は保護者との連絡ノートに記入し、知らせている。栄養士は食事風景を観察したり、献食簿を参考にしながら調理員や職員と連携し、より良い食事の提供に努めている。</p> <p>食事の際の椅子は、高さや背もたれの調整や滑り止めを付ける等、子ども一人ひとりの身体に合わせて工夫し、手づくりで作られている。またテーブルは腰までスッポリ入るカットテーブルを使用している。食事時間は一人ひとりに配慮している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>食事の支援方法については職員同士、口頭で共有されているが、マニュアル化されていないので、今後マニュアルの整備に向けた取り組みに期待したい。</p>		

2- (2) 入浴		第三者評価結果
A-2-(2)-①	入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮していますか。	A・B・C
A-2-(2)-②	入浴は、利用者の希望に沿って行われていますか。	A・B・C
A-2-(2)-③	浴室・脱衣場等の環境は適切ですか。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>非該当項目である。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
2- (3) 排泄		第三者評価結果
A-2-(3)-①	排泄介助は快適に行われていますか。	Ⓐ ・B・C
A-2-(3)-②	トイレは清潔で快適ですか。	Ⓐ ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>排泄介助に関して、子ども一人ひとりの状況に合わせて保護者と共通理解をしながら支援している。また、個別のチェック状況については、保護者との交換ノートに記入している。</p> <p>トイレは職員が十分動けるスペースがあり、また保護者用の椅子も用意されている。掃除は業者に委託し、清潔が保たれている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
2- (4) 衣服	第三者評価結果
A-2-(4)-① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援していますか。	A・B・C
A-2-(4)-② 衣服の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切ですか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>A-2-(4)-①については非該当項目である。</p> <p>自分で汚れ物を片付けたい子には、意思を尊重しながら見守りの支援をしている。失敗した場合等についてはトイレにシャワーがあるので、必要に応じて使用する等して清潔に配慮している。衣類の着替えについては、個別のロッカーにストックしている。保護者が着替えを用意しているが、施設でも予備の着替えを準備している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
2- (5) 理容・美容	第三者評価結果
A-2-(5)-① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援していますか。	A・B・C
A-2-(5)-② 理髪店や美容院の理容について配慮していますか。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>非該当項目である。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

2- (6) 睡眠	第三者評価結果
A-2-(6)-① 安眠できるように配慮していますか。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>非該当項目である。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
2- (7) 健康管理	第三者評価結果

A-2-(7)-① 日常の健康管理は適切ですか。	Ⓐ・B・C
A-2-(7)-② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられますか。	Ⓐ・B・C
A-2-(7)-③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われていますか。	A・B・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>管理職以上が参加する衛生委員会を行い、健康面での維持、増進のための話し合いを定期的に行っている。個別記録により、かかりつけ医院、病歴、アレルギー等、健康管理情報を把握している。年に2回、内科、歯科検診を行っている。</p> <p>転倒、脱臼等の怪我等の事故により、治療が必要な場合は、近隣の協力医療機関で受けられる体制ができています。</p> <p>単独通園時の服薬について、薬連絡票に記入してもらい、処方してもらった薬のみ職員が投薬している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>親子通園施設であるので、基本的には保護者管理である。単独通園時のみ管理を行っているが、その事例はとても少ない。しかし、職員が管理をする場合もあるので、マニュアルの作成に向けた取り組みに期待したい。</p>	

2－(8) 余暇・レクリエーション	第三者評価結果
A-2-(8)-① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われていますか。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>非該当項目である。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

2－(9) 外出、外泊	第三者評価結果
A-2-(9)-① 外出は利用者の希望に応じて行われていますか。	A・B・C
A-2-(9)-② 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されていますか。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>非該当項目である。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

2－(10) 所持金・預かり金の管理等	第三者評価結果
A-2-(10)-① 預かり金について、適切な管理体制が作られていますか。	A・B・C
A-2-(10)-② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できますか。	A・B・C
A-2-(10)-③ 嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	A・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 非該当項目である。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

岐阜県独自項目

(1) 職員の援助技術の向上		第三者評価結果
①	職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいますか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 年度単位で多くの外部研修を計画的に受講し、また施設内で外部講師を招く等して内部研修を実施している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
(2) I T技術や知識の修得		第三者評価結果
①	利用者の社会生活に必要なI T技術や知識の修得に向けた支援をしている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 非該当項目である。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		